

令和2年度 前期事業

令和2年度 通常総会

1、日 時： 令和2年7月19日（日）10：30～11：50

2、場 所： 札幌市市民活動プラザ星園 2階 会議室（大）

3、参加人員： 38名（委任状含む）

4、議 題：

- (1) 令和元年度会務運営報告、資産報告
- (2) 令和元年度事業報告
- (3) 令和元年度決算報告
 - ・物品一覧表について
- (4) 令和元年度監査報告
- (5) 令和2年度会務運営報告（案）
- (6) 令和2年度事業報告（案）
 - ・小樽海岸自然探勝路トレッキングの案内（案）について
- (7) 令和2年度予算（案）
- (8) 令和2年度理事、監事、名誉理事長、顧問
- (9) その他
 - ・令和元年度正会員在籍者名簿と一般会員在籍者名簿が及び
令和2年度各在籍者名簿
 - ・事務局からのお知らせ
 - ・来年度の総会予定・・・令和3年6月20日（日）

5、距離認定表彰式

- ・希望者なし

6、懇親会について

- ・新型コロナの感染拡大によりありません。



会長挨拶



広々とした会場で実施（1テーブル1名）

小樽海岸自然探勝路トレッキング

- 1、日 時： 令和2年9月20日（日） 10：00～13：30
- 2、経 路： オタモイ口駐車場～オタモイ唐門～出羽三山神社～赤岩山（371m）～赤岩山ベンチ～赤岩峠口～下赤岩山（279m）～祝津口～小樽水族館バス停 約6.5km
- 3、天 候： 晴れ
- 4、参加人員： 17名（健脚組：6名、ゆっくり組：11名）
- 5内 容：
- 久々の絶好の天気、マスクを着用して小樽駅集合後バスでオタモイ団地で下車。オタモイ口迄の約700m程のキツイ登り坂をクリヤして到着。準備体操後出発、5分程で「唐門」が現れました。正倉院と同じ校倉造で、釘を1本も使わない工法です。小樽には大変珍しい中華風の建造物で、その前で記念写真を撮りました。
 - 唐門からの遊歩道は少し笹が茂っている山道で出羽三山神社を通過その先から海岸の横とは思えない深い林道を歩き、標高差200mでコース一番の急登を進むと赤岩山頂の鉄塔群を横目にしばらく行くと、ベンチのある「赤岩山展望台」に到着しました。綺麗な海と積丹半島の山々があり、ゆっくりと眺望を楽しみました。この光景を見て70代の女性は「コロナで家に閉じこもりだったのでストレス解消ができました」と笑顔で話しておりました。
 - 赤岩峠から下赤岩山の展望地までは稜線に沿っていて、海側はすべてと言つていいほどの岩稜地帯になっており、道内屈指のロッククライミングエリアになつていて多くの人が訓練をしていました。当協会顧問の元日本山岳会副会長は「クライマーが国内外の高峰を目指してこのエリアでロッククライミングの訓練を重ねている」とおっしゃっていました。又テーブルリッジでは、大きな岩に、小さなはしごがあり、少し度胸が必要です。崖下に見える奇岩の数々。海はエメラルドグリーンでなかなか迫力がありました。
 - 出発が10時でしたので3時間半のトレッキングでした。最初の「オタモイ」から「赤岩山」は景色があまり変わらないので祝津からの出発だと後半しんどいかもしれません。ゆっくり組の3人を除き全員完走致しました。最後に恒例の「天然温泉湯ノ花」にて到着後はお楽しみの入浴で汗を流し疲れを癒しました。入浴後はビール等を飲みながら親睦を深め小樽駅にてそれぞれ三々五々に帰宅しました。



記念写真①



記念写真②



森の中を歩く



健脚組



テーブルリッジからの下界



赤岩山ベンチにて休憩

滝野公園ノルディックウォーキング

1、日 時： 令和2年10月4日（日） 9：45～12：30

2、経 路： 東口ゲート～すずらん丘展望台～わに口トンネル～森の交流館～森見の塔～峠の庭～フラワーガーデン～東口ゲート
＊ロングコース 7km、＊ショートコース 5km

3、天 候： 曇り、 気温17. 6°C (10時)

4、参加人員： 23名 (ロング組：12名、ショート組：11名)

5、内 容：

- 初体験参加者が多いので講師には、NPO法人日本ノルディックウォーキング学校公認インストラクター滝谷洋子さんと西田香織さんをお招きし「正しいポールの使い方、快適なスイスイ歩き方」のコツを教わりロング組とショート組に分かれて出発致しました。
- 皆さん滝野すずらん公園コースは冬のイベントでしか熟知していませんでした。雪のないコースにはイメージが冬と違い色々と再発見を致しました。又会話を楽しみながら、教わったポールのバランスを保ち背筋を伸ばして歩きました。
周りを見渡すと山々は少しずつ色付き初め木々には赤い実、深紅の紅葉、地面には多くの落ち葉等晩秋が近づきづつありました。
- 「森の交流館」に到着し樹木や動物、昆虫などに関する展示も行っており、またスタッフも常駐しており質問に応じてくれました。沢山のオニグルミやトチノミを乾燥しており「これはイベント用の教材」とのことでした。森へお越しの際は是非又お立ち寄りくださいとすすめられました。

滝野の森のシンボルタワー「森見の塔」では20mの高さから札幌の近郊の山並

み札幌岳・余市岳・手稲山等が一望できました。

又眺望もよく滝野の森の紅葉具合を観察致しました。

● 最後の「フラワーガーデン中心ゾーン」では残念ながらコスモス（70万株40種類）は見頃を過ぎておりました。コキア（ホウキグサ）、コリウス、ダリア、ブルーサルビア等見事な咲き具合で今日の疲れを忘れさせてくれました。60代の男性は「冬にしか来たことがない滝野公園は春・夏・秋にかけ四季折々の花が咲き乱れて、まるで花劇場です」と笑顔で話しておりました。頂いた資料によると健康寿命を引き上げる事が重要で今一度歩く習慣を身に着け、特に冬場は閉じこもりになり、皆で歩くスキー等をして、元気でより良い楽しい高齢化社会を迎える事が出来ると思います。



集合写真



準備体操



マイペースで歩く



広場を横断



森の交流館



見事なコリウス



ブルーサルビア

もどる